

2019年5月28日（火）、NHK ラジオ第1「ゴジだっちゃ！」で本施設が紹介されました。

◇放送日時：2019年5月28日（火） 17:05～18:00

◇紹介コーナー：だっちゃ通信（17:10頃～）

◇出演者

A：男性パーソナリティー 杉尾 宗紀氏

B：女性パーソナリティー 星川 幸氏

C：だっちゃ通信員 早坂 美名子氏（美里町文化振興事業団・副理事長）

◇概要

B：県内各地の情報をお伝えする「だっちゃ通信」、今日は美里町の話です。

早坂美名子さんです。早坂さん、こんにちは。

C：こんにちは。早坂でございます。

A：よろしくお願ひします。

C：よろしくどうぞお願ひいたします。

B：お願ひいたします。今日はそちらのお天気いかがですか？

C：そうですね、昨日までの太陽はありませんでしたが、時々薄日が射し、雨が午後からは少しパラパラ降りました。

A：やはりそうですね。仙台もパラっときました。

C：きましたか。何となく薄曇りの日だったという感じです。

B：そうですね。猛烈に暑かったですから。

C：そうですね。ちょっとだけホッとしたという感じです。

B：さあ、今日はどんなお話でしょうか？

C：はい、美里町の交流の森・交流館、愛称で「でんえん土田畑村」というところがあるのですが、そのリニューアルについてお話させていただきたいと思います。

A：ホームページを拝見しましたが、「土田畑村」という語感とは全然違った北欧のようなおしゃれな感じです。

C：はい、そうなんですよね。この「土田畑村」は公募で付けられた名前なのですが、よく見れば周りには土であり、田んぼであり、畑ですから、土田畑村もぴったりかなと思います。

A：土、田んぼ、畑で土田畑、ということなんですね。

C：そうなんですよ。面白いですね。

B：なるほど。その施設がリニューアルしたということなんですね。

C：はい、そうですね。これまで長年運営されていた南郷ふれあい公社というところが解散ということで、新しい会社に引き継がれまして、4月21日にリニューアルオープンセレモニーが行われました。

A：施設は本当に北欧風のログハウスがありますよね。

C：はい。ログハウスというと、山や海を考えるとしますが、ここは田園風景の中に囲まれたログハウスでして、大崎耕土の大地の豊かさを感じていただけるかしら、という場所です。

B：そのログハウスに泊まることのできるということなのですね。

C：そうですね。宿泊もちろんできますが、そこで楽しんでいただく様々な企画なども用意されているようございます。

B：いろんな活動もその場所でできるということですね。

C：そうですね。5月には、周りが田んぼですから、田植えの体験をするという企画があったそうですが、参加

されたお子さんたちは泥んこ体験を楽しんだようです。

A：いいですね。

C：田植えだけではない、とても良い体験だと思います。それから、夏はじゃがいも掘りだとか、秋にはにんじん掘りなども企画されているようです。

A：なるほどなるほど。

C：ここは地元、南郷高校がありまして、そこの生徒さんが育てている花がいっぱい庭に植えられているのですが、その中でバーベキューなども楽しめるようですよ。

B：いいですね。リニューアルして、これからどのようにしていきたいという思いはあるのですか？

C：そうですね。シンプルモダンな作りの宿に、おしゃれで女性に人気の施設と私は考えますが、その他に、新しい館長の山本和幸さんと石田浩人さんにお話を伺ってきたのですが、お客様へのサービスの提供、地元と連携した地域貢献、町の魅力を広く発信したい、という3つの柱をあげてらっしゃいました。年齢関係なく、子供から大人まで年齢を超えて喜びと楽しみがある場所にしたい、20年30年先まで考えた場所づくりを目指したいということでした。

A：なるほどね。本当に息長く続けるという、こういう施設は大事ですよ。

C：そうなんです。今始まったばかりですから、2、3年はベース作りをしっかりとしたいなというお話をされています。

B：その宿泊施設のほかにも喫茶コーナーみたいな立ち寄れる場所もあるということですね。

C：そうなんです。その施設の管理棟の中に喫茶コーナーがありまして、ちょうど私がお訪ねした時に試作品が届いているということで、試食をさせていただきました。地場産品の食材を使った「土田畑タルトケーキ」と、「グレープフルーツのジュレ」がありまして、私は「グレープフルーツのジュレ」をごちそうになりました。

A：どうでした？

C：「あれ？そのまま4分の1カットしてるのかな？」と見間違えるようなジュレでして、グレープフルーツの皮がそのまま器になっていました。その上にジュレが乗っているのですが、とても爽やかな味ですし、その皮を器に使っているということで、新鮮さが伝わってきました。

A：なるほど。

C：新鮮じゃないと器にはできませんのでね。

B：そうですね。

C：これにもう少し地元ならではの工夫を加えていきたいというお話をされていましたよ。

B：じゃあこれからこの先また食べられるようにということですね。

C：そうですね。今進化途中でございます。

B：なるほど。イベントも様々あるということでしたが、夏休みにはもう決まっているものもあるということですね。

C：そうなんですよ。「DoTaBaTa ナイトマルシェ」というイベントが、8月24日に企画されています。準備段階のようですが、軽快な音楽と美味しい食、そして最高のお酒を自分のスタイルで楽しむ大人のマルシェ、という企画らしいです。もちろん子供さんも楽しんでいただける催しです。時間が15時半からということですので明るいうちから始まります。多くの方に来ていただきたい。

A：8月24日の土曜日ということですね。

C：そうなんです。それでちょうど私がお話をしている時に実行委員の地元の女性の方たち3人が入ってこられてですね、その中に、なんと、あの人が入っておりました！

A：名雪祥代さんですよ！

C：そうなんです！軽快な音楽はきっと名雪さん。

A：水曜のパーソナリティー。

C：そうですね。おいしい食はパン屋さんが、お酒もお酒屋さんが中心になって、それぞれ地元の若い女性たちが企画しています。

A：盛り上げたいということですね。

C：そうなんですよね。新しい時代の女神様たちが降臨したのではないかというような、そんな華やかさがありましたよ。

A：いいですね。

B：いいですね。これも楽しい夜になりそうですね。では、問合せ先をお願いできますか。

C：はい、問い合わせ先はでんえん土田畑村で、電話番号が 0229-58-2221 です。

A：0229-58-2221 ですね。

C：はい、そうです。

B：早坂さん、ここまでどうもありがとうございました。

C：はい、ありがとうございました。

A：ありがとうございました。

C：皆さん、どうぞいらしてください。

以上